



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月5日

上場会社名 株式会社エル・ティー・エス
 コード番号 6560 URL <https://lt-s.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樺島弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 グループ経営推進室長 (氏名) 李 成一
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5919-0512

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,324	30.3	444	14.6	424	24.8	262	19.8
2020年12月期第3四半期	4,086	62.5	388	85.4	340	63.5	219	71.1

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 260百万円 (22.5%) 2020年12月期第3四半期 212百万円 (65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	63.31	59.15
2020年12月期第3四半期	54.03	49.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,658	1,932	41.5
2020年12月期	4,290	1,732	40.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,932百万円 2020年12月期 1,729百万円

(注) 2021年12月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		0.00	0.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	26.0	580	21.2	530	18.5	341	26.1	82.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	4,336,700 株	2020年12月期	4,197,400 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	127,802 株	2020年12月期	87,658 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	4,148,609 株	2020年12月期3Q	4,058,138 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続きました。ワクチン接種の進展や各種政策の効果もあり、景気には持ち直しの動きも見られるものの、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である情報サービス産業においては、企業経営に対する新型コロナウイルスの影響が長期化する中、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた、社会環境の変化に対応するためのデジタルトランスフォーメーション（DX）に関する注目度が引き続き高く、AI、RPA（Robotic Process Automation）等の業務ロボット導入やテレワーク推進等の働き方改革など、社内における変革活動を側面支援するサービスへのニーズは、底堅く推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画を策定し、ロボティクス・AI・ビジネスプロセスマネジメントを活用することによって、企業変革と働き方改革を促進支援する会社として、顧客の現場に入り込み、顧客の課題や変革テーマに応じた各種支援をワンストップで提供するプロフェッショナルサービス事業及び企業のIT人材不足を解消するプラットフォーム事業を展開してまいりました。プロフェッショナルサービス事業では、外部企業との連携推進やテレワークによる新たな形でのプロジェクト推進を継続するとともに、人材の採用・育成活動に積極的に取り組みました。プラットフォーム事業では、既存サービスである「アサインナビ」及び「コンサルタントジョブ」の積極展開に加え、事業会社とDX企業のマッチングを行う新サービス「CS Clip」の開発を推進しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,324,455千円（前年同期比30.3%増）、営業利益444,870千円（前年同期比14.6%増）、経常利益424,482千円（前年同期比24.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益262,667千円（前年同期比19.8%増）となりました。

セグメントごとの業績（売上高には内部売上高を含む）は、次のとおりです。

（プロフェッショナルサービス事業）

プロフェッショナルサービス事業では、企業活動の様々な制約によってIT部門を取り巻く環境が大きく変化していく中で、旺盛なDXに関するニーズが追い風となり、積極的に事業展開を推進した結果、ビジネスプロセスマネジメントを活用した業務の可視化・改善を強みとする従来型のコンサルティング案件（業務分析・設計、IT導入支援・現場展開）の獲得は順調に推移いたしました。株式会社ソフテックの連結子会社化による静岡・東海エリアでの事業拡大、株式会社ログラス及びアウトロックスコンサルティング株式会社との業務提携による経営管理領域でのデジタルトランスフォーメーション推進等、テクノロジー企業を中心とする外部企業との連携を推進するとともに、花王グループカスタマーマーケティング株式会社とのAIによる自動棚割りアルゴリズム開発等、DX領域における先進的な案件への取り組みを進めました。また、書籍発行やセミナー等を通じ、知名度向上やブランディング強化を目指し、提供サービスに関する外部への情報発信も積極的に実施しました。

この結果、プロフェッショナルサービス事業の売上高は5,141,724千円（前年同期比29.9%増）、セグメント利益（営業利益）は406,497千円（前年同期比14.5%増）となりました。

（プラットフォーム事業）

プラットフォーム事業では、IT業界に特化した、ビジネスマッチングと学びの場を提供するプラットフォームである「アサインナビ」の会員数は、2021年9月30日現在で法人・個人を合わせ11,248会員（前期末比1,042会員の増加）となり、順調に成長を続けております。会員基盤の拡大に伴うマッチングの増加や、「アサインナビ」及び「コンサルタントジョブ」の更なる活性化に向けた料金プラン変更等により、売上高は堅調に推移しました。一方、新サービス「CS Clip」への開発投資を継続するとともに、収益化に向けたマーケティング活動を積極化し、既存サービスの収益拡大に向けた組織体制の強化も実施しました。

この結果、プラットフォーム事業の売上高は234,506千円（前年同期比40.3%増）、セグメント利益（営業利益）は38,372千円（前年同期比15.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,658,051千円となり、前連結会計年度末に比べ367,773千円増加しました。これは、主に売掛金が178,920千円、仕掛品が99,935千円、投資有価証券が97,842千円増加したことによるものであります。

負債は2,725,769千円となり、前連結会計年度末に比べ168,037千円増加しました。これは、主に長期借入金が246,101千円減少し、その他（仮受金）が388,137千円増加したことによるものであります。

純資産は1,932,282千円となり、前連結会計年度末に比べ199,735千円増加しました。これは、主に利益剰余金が262,667千円、資本金が36,710千円、資本剰余金が44,484千円、自己株式が141,694千円増加したことによるものであります。自己資本比率は、41.5%となっております。

なお、2020年12月3日に行われた株式会社ソフテックとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。当該暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分の見直しが反映されており、前連結会計年度末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を用いております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月12日に決算短信で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が当社グループの業績に及ぼす影響は、現時点では限定的となっておりますが、今後の状況変化については継続的に注視し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,682,739	2,485,501
電子記録債権	81,126	123,548
売掛金	813,535	992,456
仕掛品	55,660	155,595
貸倒引当金	△2,035	△1,857
その他	75,995	197,503
流動資産合計	3,707,022	3,952,747
固定資産		
有形固定資産	40,966	47,799
無形固定資産		
のれん	198,607	164,894
ソフトウェア	6,128	2,525
ソフトウェア仮勘定	86,768	127,215
無形固定資産合計	291,505	294,635
投資その他の資産		
繰延税金資産	119,187	125,091
敷金及び保証金	42,077	50,187
投資有価証券	29,657	127,500
その他	59,861	60,090
投資その他の資産合計	250,783	362,869
固定資産合計	583,255	705,304
資産合計	4,290,278	4,658,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	504,577	566,901
1年内返済予定の長期借入金	305,005	270,354
短期借入金	—	8,568
未払金	265,694	202,080
未払法人税等	149,904	72,287
賞与引当金	111,813	129,203
役員賞与引当金	22,123	—
その他	215,185	700,952
流動負債合計	1,574,304	1,950,346
固定負債		
長期借入金	883,868	672,418
退職給付に係る負債	96,603	99,749
繰延税金負債	539	539
その他	2,415	2,715
固定負債合計	983,427	775,422
負債合計	2,557,731	2,725,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,020	565,730
資本剰余金	454,020	498,505
利益剰余金	889,202	1,151,869
自己株式	△142,469	△284,164
株主資本合計	1,729,773	1,931,941
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	62	340
その他の包括利益累計額合計	62	340
非支配株主持分	2,710	—
純資産合計	1,732,546	1,932,282
負債純資産合計	4,290,278	4,658,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	4,086,817	5,324,455
売上原価	2,590,786	3,422,434
売上総利益	1,496,030	1,902,021
販売費及び一般管理費	1,107,854	1,457,151
営業利益	388,175	444,870
営業外収益		
受取利息	23	20
受取配当金	—	43
為替差益	127	—
保険解約返戻金	3,670	139
助成金収入	—	3,770
その他	2,038	443
営業外収益合計	5,861	4,418
営業外費用		
支払利息	4,328	4,703
為替差損	—	273
上場関連費用	27,677	—
持分法による投資損失	20,330	18,476
その他	1,488	1,352
営業外費用合計	53,824	24,806
経常利益	340,212	424,482
特別損失		
投資有価証券評価損	—	11,181
特別損失合計	—	11,181
税金等調整前四半期純利益	340,212	413,301
法人税、住民税及び事業税	119,426	159,248
法人税等調整額	8,258	△5,903
法人税等合計	127,685	153,344
四半期純利益	212,526	259,956
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,754	△2,710
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,281	262,667

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	212,526	259,956
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△134	278
その他の包括利益合計	△134	278
四半期包括利益	212,392	260,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,146	262,945
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,754	△2,710

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年4月16日開催の取締役会において譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決議し、これに基づいて2021年5月6日に自己株式3,000株の処分を実施するとともに、2021年6月3日開催の取締役会決議に基づき、2021年6月4日付で、自己株式43,000株の取得を行ったことにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が141,694千円増加しております。また、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、当第3四半期連結累計期間において、資本金が36,710千円、資本準備金が36,710千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が565,730千円、資本剰余金が498,505千円、自己株式が284,164千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	プロフェッショナルサービス 事業	プラットフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,138,404	186,051	5,324,455	—	5,324,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,320	48,455	51,775	△51,775	—
計	5,141,724	234,506	5,376,230	△51,775	5,324,455
セグメント利益	406,497	38,372	444,870	—	444,870

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

プロフェッショナルサービス事業において、前連結会計年度に行われた株式会社ソフテックとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんは暫定的に算出された金額でありましたが、第1四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんは修正しております。

詳細につきましては「注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2020年12月3日に行われた株式会社ソフテックとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額121,842千円は、取得原価の配分額の確定により115,961千円となりました。のれんの減少は、主として繰延税金資産が1,739千円、未払金が4,921千円、その他流動負債が3,283千円減少し、未払法人税等が584千円増加したことによるものであります。なお、会計処理の確定による前連結会計年度の連結損益計算書への影響はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用) 当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。